

1-2 無垢フローリングの特徴

自然木材

素材のまま板状に加工して、床材として利用します。

ウレタンやオイルで仕上げた製品もありますが、自然の木材そのままでも利用可能で、自然のまま使えば人工的な有害物質を含まないので人に優しい素材となります。

自然系オイルなど天然成分由来の製品を使えば、エコロジーにもつながります。

長所

素材の特徴が、そのまま床の特徴となります。

スギやヒノキといった針葉樹は歩いた感触が柔らかく、足腰にかかる負担を軽減でき、同時に温かみも感じ床の冷たさも緩和してくれます。

オークやバーチなどの広葉樹は強く固いので傷つきにくいといった木材本来の特徴を生かし、ライフスタイルに合った床材を選択することができるのです。

床の表面が剥がれたりすることがないので合板のフローリングより長持ちし、傷や汚れは表面を研磨すれば再生され、何時までも長く使えます。また、表面が多少磨り減っても、材料に厚みがあるためにさほど気になりません。

自然な色のバラツキがあるところも、好みによっては長所となり、木目一つ一つに個性がありまったく同じ**ものがない**ので飽きの来ないデザインと言えるでしょう。

表面の仕上げの違いにより、好みの性能や手触りを再現することができます。傷を減らしたい場合は耐久性のある塗装、感触を楽しみたいならオイル仕上げなど、同じ素材をバリエーションで楽しめます。

短所

変形が生じやすいところが最大の弱点で、湿度によって変形が生じる場合があります。40%~60%の湿度が最適です。湿度が低すぎる場合は乾燥で表面がカサカサしたりひび割れの原因となります。また湿度が高すぎると床材が水分を含み膨張して変形するおそれがあります。

特に床暖房を行うと変形が目立つので使用される場合は床暖房対応品を選択することを推奨します。